

## 文法マーカの強制性から見る“了”の語用論的性格

### 「～た」との対照を兼ねて

王 占華 (北九州市立大学)

(ousenka@kitakyu-u.ac.jp)

#### 1. 文法マーカの強制性

文法マーカの強制性とは、ある種の文法的意味を表す場合には必ず特定のマーカを使用しなければならず、選択の余地がない現象を指す。日本語の「～た」は、代表的な強制性のある文法マーカである。過去のことであれば、基本的に用言の語尾を「～た」に変えなければならず、そうしなければ、文法的非文しか作れない。中国語の多くの述語における“了”もこれに類似し、完成（実現を含む）した動作でさえあれば、“了”を使用しなければならない。例えば、

(1) 当时在场的那个犯人四年前死了。

\*当时在场的那个犯人四年前死。

(当時現場にいた犯人は4年前に死亡した。)

(2) 这张邮票印错了。

\*这张邮票印错。

(この切手は間違って印刷された。)

(3) A: 小张为什么没来? (A: 張君はなぜ来てないの?)

B: 他感冒了。\*他感冒。(B: 彼は風邪を引いた。)

(4) A: 你的自行车借我骑一下, 行吗? (A: 自転車をちょっと貸して给我ませんか?)

B: 我的自行车丢了。\*我的自行车丢。(僕の自転車はなくなってしまったんだ。)

#### 2. 語義・語用論標識の可選性

2.1 (1)～(4)の“了”に対して、連体修飾語における“了”は、上述のような使用を強制する度合いが弱まり、逆に使用しても、しなくてもよいといった選択性が強くなっていく。例えば、

(5) a 死的人            b 死了的人

(6) a 印错的邮票      b 印错了邮票

(7) a 感冒的学生      b 感冒了的学生

(8) a 丢的自行车      b 丢了了的自行车

(9) a 睡的时候        b 睡了的时候

フレーズとして、aとbが完全にイコールとは言えないが、具体的な文章の中に入れて、往々にして



3.2 日本語母語話者の連体修飾語における“了”に対する理解は往々にしてテンスを示す動詞語尾の「～た」に影響される。従って、学習者の作文や訳文の中に下のような用例が頻繁に見られる。

(14) 寝る時は電気を必ず消してね。

(睡觉的时候可要关上灯啊。)

(15) 水平に寝た時、ベッドと首との間にできる空間はだんだん大きくなり、枕が合わなくなる。

(\*平躺着睡了的时候, 床与脖子之间的空隙渐渐扩大, 枕头会变得不合适。)

(16) 去年の後期私は中国語の会話の授業を受けた際、…。

(\*去年下学期我上了汉语会话课的时候, ……。)

(14) では日本語原文には「～た」がないため、中訳にも“了”を使用しておらず、正しい文になっている。一方、(15) (16) では、原文に「～た」があるため、中訳にすべて“了”を使用しており、三つとも非文となっている。但し、連体修飾語の中の「～た」のすべてを“了”と訳せないわけではなく、下のような実例も見られる。

(17) この種の住宅は市販住宅のように売買することはできず、購入した人が売りたい場合は、政府の定めた価格で政府に売るしかない。

(这种住宅不能和商品房一样交易, 买了的人想卖的话, 只能按照政府规定的价格卖给政府。)

(18) また、革命や政変によって名称が変わった国や、同一領域の正統政権の地位を争って並立していた国は除きます。

(此外, 由于革命或政变名称变了的国家 and 正在争夺同一领域的正统政权的并存的国家除外。)

(19) 5月初めにサイクロンに襲われたミャンマー（ビルマ）の被災地ではコメこそ確保できるようになったものの、心の傷を抱える多くの住民には満足な家も副食も生計の道もなく、展望の見えない状況が続く。

(在5月初被飓风袭击了的缅甸的受灾地区, 尽管确保了大米的供应, 可是心灵受到了创伤的很多灾民, 既没有安居的住处, 也没有副食, 仍处于生计无着落, 前途无望的状态。)

(20) お申込みの後で紛失したカードを発見された場合でも、紛失再発行のお申込みは、取消しできません。

(申请以后, 丢了的卡找到了的时候, 已经提出的再发行的申请也不能取消。)

以上のような状況から推測できるように、“V的N”構造の中の“了”は単純に日本語の「～た」に対応するといった性質のものではなく、“了”を使用するかどうかを決める何らかの条件が存在すると言えよう。

#### 4.1 先行研究

4.1 木村1982、杉村1982、三宅1989などは「已然・未然」の角度から連体修飾語の中の“了”を研究し、文脈制限のない限り、“V的”自体にすでに「已然・個別」という意味があるため、これにさらに「已然」を表す“了”は現れにくくなると指摘している（三宅1989、53頁）。また、三宅氏は「“V的”の後の体言性成分が受け手ではなく、或いは“了”は補語の性格を持ってはじめて、“V了的N”という形式があり得る」とも指摘している。

4.2 これらの研究と考察は“了”＝「～た」のような誤解を避けるのに役立つ、中国語の教育と習得においても大いに参考になると思われる。また、「“V的”の後の体言性成分が受け手ではなく、或いは“了”は補語の性格を持ってはじめて、“V了的N”という形式があり得る」との観点により(17)(18)の中の“了”の使用根拠についても解釈できるようである。しかしながら、(19)(20)の“了”は補語の性格を持っていると言えるものの、“V的”の後の体言性成分はすべて受け手である。(“袭击了的缅甸的受灾地区＝袭击缅甸的受灾地区”、“丢了的卡＝丢卡”)。さらにより多くのデータに基づき、“了”が補語の性格を持っていない、同じ動詞により構成される“V的N”と“V了的N”のどちらも存在する事例も少なくないことを指摘することができる。例えば、

(21) 1. 由于生息地减少的原因而 (a. 灭绝・b. 灭绝了) 的动物。2. 由于作为食物而被乱捕乱获的原因而 (a. 灭绝・b. 灭绝了) 的动物。3. 由于受到了移民带来的动物的袭击的原因而 (a. 灭绝・b. 灭绝了) 的动物。

(1. 生息地の減少が原因で絶滅した動物。2. 食料として乱獲されたのが原因で絶滅した動物。3. 移民たちの連れ込んだ動物に襲われたのが原因で絶滅した動物。)

(22) 想介绍一下到目前为止已经 (a. 改善・b. 改善了) 的事项。

(これまでにすでに改善した事項を紹介したいと思う。)

(23) 通常在资源管理器上删除文件的时候, 那些文件移到垃圾箱里, 由于操作错误 (a. 删除・b. 删除了) 的文件, 可以从垃圾箱里复活。

(通常、エクスプローラ上でファイルを削除すると、そのファイルが“ごみ箱”へ移動する仕組みになっており、誤って削除したファイルは“ごみ箱”から復活させることができる。)

(24) 帝京大学药学部山崎正利教授等人的实验证明, 即使是外表不太好看, 也是充分 (a. 成熟・b. 成熟了) 的香蕉提高免疫力的效果大。

(見た目が多少悪くても、よく熟したバナナの方が免疫力を高める効果が大きいことが、帝京大薬学部の山崎正利教授らの実験で証明された。)

(21)～(24)の各文の基本的意味については、aとbに異なる点があるとは言い難い。また、bの各文中の“了”の使用は、先行研究で言われた「現れにくい」ことはないところか、むしろかなり自然である。この事実は、“V的N”における「已然・個別」という意味傾向と“了”の補語性だけ考えても、“V了的N”における“了”の出現条件を十分には解釈できないということを物語っている。

4.3 李1999は再度テンスの角度から“V的N”と“V了的N”の相異を論述し、両者の根本的な違いは「時間的な特徴」にあり、“V的N”は動作自体に着目するだけで、“V了的N”は主にVの時間的な特性に着目すると指摘した(李1999, 54頁)。氏もまた三宅1989と同様に、以下のような例文を挙げて、多くのNが受け手である“V的N”に“了”は現れにくいと指摘している。

吃了的饭	(食べたご飯)	?	做了的饭	(作ったご飯)
咬了的苹果	(かじったリンゴ)	?	拿了的苹果	(取ったリンゴ)
忘了的事情	(忘れたこと)	?	记起了的事情	(覚えたこと)
卖了的土豆	(売ったジャガイモ)	?	买了的土豆	(買ったジャガイモ)
掉了的牙	(抜けた歯)	?	长了的牙	(伸びた歯)

氏は、左側の用例の中のVはある種の結果或いは変化を表すのに対して、右側の用例の中のVはそうではないので、“了”が現れると、フレーズの自然度が低くなると分析した（同46頁）。

氏の論点は、次のようにまとめられる。

1. 「ある種の結果或いは変化」があつてこそ、“了”を使用できる。
2. “了”の使用できる“V的N”に“了”があれば、「時間的な特徴」が強調される。

1は三宅1989の「補語性格を持つ」説に似ているが、反論の余地がないわけではない。2について、氏の用例を持っていても、それほどの説得力があるとは思われない。

(25) 去年三月，中央情报局从邮局购得95枚印错了的邮票。

(去年の三月、CIAは郵便局から間違つて印刷された切手を95枚購入した。)

李氏は、文中の“了”は“印错”が“购得”の前に発生し且つ完成したことを表すものであると指摘しているが、われわれの語感によれば、この“了”がなかったとしても、“印错”は“购得”の前に発生し且つ完成したことは明らかであるし、文も不自然ではない。

(26) 去年三月，中央情报局从邮局购得95枚印错的邮票。(訳同上)

言い換えれば、“了”の有無にかかわらず、「時間的な特徴」は同じなのであり、即ち、テンスのアプローチに戻ってもやはり連体修飾語の中の“了”の有無の違いを解釈できないのである。

## 5. 語義的アプローチの試み

5.1 本稿では、一部の“V了的N”の中の“了”は語義標識で、おおよそ日本語の「～(て)しまった」に相当し、“了”の使用により、“V了的N”中の“V”における「用途、習慣、好み、所属」などの意味を排除し、専ら動作の完結を表すという働きを持っていると考えている。ここで強調しておかなければならないのは、「～(て)しまった」に相当する「動作の完結」は文法的意味としての「動作の完成・実現」とは別のことであるという点である。前述の通り、連体修飾語の中の動作の完成/実現の文法的意味は“了”を使用しなくても表すことができるからである。さらに次の2例を見てみよう。

(27) 这些灰褐色粉末就是当时的人们烧的煤。

(これらの褐色の粉末は当時の人々が燃やした石炭である。)

(28) 这些灰褐色粉末就是当时的人们烧了的煤。(訳同上)

2文の中の“烧”はどちらも文法的には完成を表す。なぜなら、両方ともすでに実現した動作だからである。しかしながら、(27)には“了”があるため、“烧”は「燃やしてしまった」という意味しか持たず、「用途」などの意味を読みとる可能性は全てなくなってしまう。

しかし、教育のレベルにおいては、(27)の“烧的煤”と(28)の“烧了的煤”を日本語に訳せば、どちらも「燃やした石炭」にしなければならないであろう<sup>2)</sup>。日本語の「～た」は過去を表す強制性の文法標識だからである。従って、先ずこのような“了”の語義標識の性格を明らかにしなければ、“V了的N”と“V的N”の相異を明白に示すことはできない。逆に言えば、先ず“了”のこのような性格を明らかにしておけば、さらにこれに基づいて、日本語母語学習者に対して、連体修飾語の中で、どのような場合に“了”が必要或いは必要でないのかも説明することができる。

5.2 上述の論点の裏付けとして、引き続きより多くの実例を通じて語義標識としての“了”の性格を分析しておきたい。

(29) 当时有好多的家庭，姐姐(a. 穿・b. 穿了)的衣服，再给弟妹穿，直到穿得不能再穿……。

(当時の多くの家では、姉の着た服を着られなくなるまで弟や妹に着せた…。)

“再给弟妹穿”から判断すれば、aの“穿的衣服”においても、bの“穿了的衣服”においても、動詞“穿”の文法的意味は全て「完成」である。しかし、aの“穿”に関しては、「用途、好み、所属」などの意味も読み取れるのに対して、bの“穿”には「着た・着たことがある・着てしまった」といった「完結」の意味しかない。

(30) 杨勇同志非常注重贯彻实事求是的原则，一再强调“(a. 全错・b. 全错了)的案子全平，部分错的部分平，决不能留尾巴”。

(楊勇同志は「事実に基づいて真実を求める」という原則を非常に重視し、何度も「完全な冤罪(= 全て間違った事件)は全部見直し、部分的な冤罪はその部分を見直す。絶対中途半端のままではいけない」と強調した。)

(31) 唐・吉诃德是一位穷乡绅，他因读骑士小说入了迷，妄想恢复(a. 衰亡・b. 衰亡了)的骑士制度。

(ドン・キホーテは貧しい郷士で、騎士道物語に熱中し過ぎたため、衰退した騎士制度の復活を妄想した。)

文法上では、“全错的案子=全错了的案子”、“衰亡的骑士制度=衰亡了的骑士制度”となり、「言語の中に意味のない形式はなく、形式のない意味もない」という名原則に従うなら、“了”を「語義標識」と見なさなければ、各文のaとbの相異を説明することはできない。しかし、“了”の「語義標識」の性格を認めると、前文の“烧的煤”と“烧了的煤”に対する分析のような解釈ができるようになる。

5.3 上述のようなaとb文は理論的に共存するが、しかし、「語義標識」の“了”を使用しなければ、正確に事実を伝達することができない場合もある。例えば、

(32) 我是实在被打怕了，受不了就说是我拿丢了，那真是实在的屈打成招。我还装作拿丢了的样子，到处找。

(実際のところ、殴られて私は怖かった。耐えられず、「私がなくしたんです」と口にした。それは本当に拷問による自白であった。さらに私はなくなってしまうたふりをして、あちこちを捜した。)

たとえ“了”を使わず、“装作拿丢的样子”と言っても、“拿丢”も完成した動作としての理解しかできない。但し、前の“就说是我拿丢了”と“屈打成招”に相応する言い方としては、“了”を使って「完結」を強調した方がよい。

(33) 且不说你做了的活一共也就挣了两万多块钱，就是做了的这些，很多我还要另外找人返工重新做。

(君のした仕事の全部でも2万余りの利益しかないことを別にして、すでに完成した分でも、不合格品が多いので、他の人にやり直してもらわなければならない。)

“了”を使わない“做的活、做的这些”と比べれば、“了”のある構造は“要另外找人返工重新做”という事実により相応しいものとなる。

(34) 在梅、程、荀、尚四派形成的过程中，自然也积累了这些名家不断丰富发展了的唱腔音乐。

(梅、程、荀、尚の4つの流派が形成したプロセスの中に、自然にこれらの名人達が絶え間なく充実させ、発展させていた節回しが積み重ねられている。)

“自然也积累了”から見て、“丰富发展”は「すでに～(て)しまった」という意味であるので、語義上で“了”を使わなければならない。贅言になるが、“了”の有無にかかわらず、文法的な意味は全て「完

成」である。

ここで注目したいのは、上述の用例の中の“穿、拿、做”などは、先行研究（李 1999）で指摘のある“了”と共に連体修飾語になりにくい動詞でもあり、それらの後ろのNは受け手でもある。このことから分かるように、一部の“V的N”の中に“了”が現れるか否かは、一種の「語義的なニーズ」によるものであり、一律に動詞の特徴及び動詞と後ろのNとの“施受”関係に関連性があるとは言えないのである。

## 6. 語用論的アプローチの試み

6.1 また一部の“V了のN”中の“了”は、有無による文法的な意味の違いがないだけでなく、語義上においても違いがない。本論ではこのような“了”を語用論標識と呼ぶことにする。語用論標識“了”は話者の「やっと成し遂げた」、「幸い」、「逆転できない」、「後悔しても仕方がない」といった心理状態やニュアンスなどを表す。例えば、

(35) 目前有些消费者担心央行还会继续加息, 在犹豫要不要买保险, 已经 (a. 买・b. 买了) 的保险该怎么办?

(現在、消費者達は中央銀行が引き続き利息を上げるのか、保険を買うべきかどうか、すでに購入した保険はどうすればいいかなどを心配している。)

動詞の前に副詞“已经”があるので、“了”があってもなくても、“买”は「購入した」「入手した」という意味になる。但し、bは“了”の使用により話し手が特に表現したい「逆転できない」という心理状態を強調する効果を生んでいる。

(36) 这个房子还真是后来我们列入日程, 差一点点就 (a. 买・b. 买了) 的房子, 呵呵, 真的是出乎我的意料, 竟然这么差。

(この建物はなんとこの間私達が買いたくなり、もう少しであやうく買いそうになった部屋だった。本当に思いもよらないことだが、こんなにひどいシロモノだった。)

aの“V的N”とbの“V了のN”とも仮設表現であるから、“了”があってもなくても、文法と語義面では相異がない。但し、“了”のあるbは話し手の「幸いなことに」という気持ちを強く表現している。

(37) 就算知道了谁拿了你的东西, 也不能改变你的东西被 (a. 拿・b. 拿了) 的事实。

(たとえ誰が君の物を持って行ったのかを分かったとしても、君の物が取られたという事実を変えることはできない。)

(38) 他跑乡串村, 召回了那些被他打发回家的帮工, 整修被 (a. 中断・b. 中断了) 的引水渠。

(彼は多くの村の家々を訪ね歩き、彼に解雇された人を呼び戻し、中断された用水路の工事を再び施工しはじめた。)

“被拿的事实”と“被拿了的事实”は同じ事実であり、受身を示す前置詞の“被”があるので、“了”の文法的な働きはほぼゼロに近く、aとbの語義もかなり接近しているが、しかし、“了”のあるbは“既成事実”（すでに定まって改められないこと）を強調している。(38)も同様で、“了”があってもなくても、文法と語義面では相異がない。但し、“了”のあるbは「後悔だけでもどうしようもない」といったニュアンスを含んでいる。

6.2 語義標識の“了”と同様に、場合によっては、語用論標識“了”を使用してはじめて、その文で強調したい特定のニュアンス、話者の主観的な心理状態や気持ちを表すことができる。例えば、

(39) 你选择相机先看看功能吧! 我买了的那个每次闪光后都要充电, 麻烦死了。

(カメラを買うなら、先ずその機能をチェックして下さい。私が買ったやつはフラッシュが光るたびに充電しなければならない。めちゃ嫌です。)

(40) 你最后悔买了的衣服是： a羊毛衫 b晚礼服 c旗袍

(あなたが買ってしまってから最も後悔した服は： a カーディガン b タキシード c チャイナドレス)

2文とも“了”の使用、不使用による文法と語義の違いはないが、“了”があれば、話者の強調したい「後悔」というニュアンスを十分に出すことができる。

## 7. 教育における連体修飾語 “了”

7.1 これまでの論述は、読者に対し“V了的N”の“了”はあってもなくてもよく、自由に選択できるという印象を与えたかも知れないが、本論で極力訴えたいのは、“了”の自由選択ではなく、“了”の必要の有無を判断する基準は、文法的な基準を主とするのではなく、語義或いは語用論的なニーズによるという点である。中国語の事実の一部の連体修飾語には“了”が必要で、また一部の連体修飾語には“了”が必要でないということである以上、学習者に自然な中国語の表現を身につけさせるためには、このことを教育の内容に盛り込まなければならない。

これまで、教育上で採用された基準をまとめてみると、次の通りとなる。

1. 絶対的テンス基準、即ち“了=た”。この基準は把握しやすいが、必然の結果として、必ず前の例(15)(16)のような非文を導いてしまうため<sup>3)</sup>、基準というよりも、むしろ一種の“誤導”(間違った方向への導き)と言うべきである。

2. 相対的テンス基準。即ち、“了”を使用するかどうかを判断する際に、発話時点を基準にするのではなく、文中の複数の動作の前後関係により決める。例えば、

(41) 今度彼に会った時に話してあげよう。(張麟声1993、70頁)

(下次见了他的时候, 替你说一说吧。)

この基準はある程度の参考価値がある。しかしながら、確かに“了”を使用しなければならないかどうか、再考の余地があるし、最大の問題は、この標準の基礎になっているのがやはり“了=た”であるという点である。

3. 已然・未然基準。この基準はすでに語義の要素を融合したと言えるものの、本質から言えば、やはり文法的な基準である。また「已然の動作であっても、“了”も現れにくい」(前述の4.1節を参照)という総括は、中国語の事実に対応しないばかりでなく、日本語母語の学習者の語感にも相反し、納得しにくく、マスターしにくいものである。

4. 構造基準、即ちコンストラクション文法 (construction grammar) 基準。具体的に言えば、“V的N”構造自体に「已然・個別」の意味があるので、さらに「已然」を表す“了”は現れないという先行研究の観点である。しかし、これまで挙げてきた用例からも分かるように、多くの言語事実はこの基準の裏付けにはなっていない。

7.2 本論で主張している語義・語用論基準は一種の主観化基準である。換言すれば、「話者願望」(=話し手が何を言いたいのか)を準則にして“了”を使用するか否かを決めるというものである。この基準に従えば、特定の文に“V了的N”を使用するか、それとも“V的N”を使用するかは、「言内」(言葉の内部)

ではなく、「言外」（言葉の外部＝話し手）によって決まるということになる。さらに幾つかの実例で説明したい。

(42) 「水を飲む時に、井戸を掘った人を忘れない」。これは中日国交正常化の際、周恩来総理が語った言葉である。

a 喝水的时候, 不忘挖井的人。这是中日邦交正常化的时候, 周恩来总理说的话。

# b 喝水的时候, 不忘挖了井的人。这是中日邦交正常化的时候, 周恩来总理说了的话。

(43) (イエメン政府は水を求めて同盆地に深さ2000メートルの試験井戸を掘り、その方法を農家に紹介した。) これらの井戸を掘った農家達は、水に恵まれており、旱魃の影響はさほど心配ない。

# a 这些挖井的农民们受到了水的恩惠, 不用怎么担心旱灾的影响。

b 这些挖了井的农民们受到了水的恩惠, 不用怎么担心旱灾的影响。

日本語としては全て「井戸を掘ったN」であり、また両者における“挖”は全て文法上の「完成」である。しかし、(42)について言えば、話者は動作主だけを示したいのであり、語義上の「完結」は重要ではない。よって、“了”のないaを選択すべきである。これに対して、(43)では、「完結」してこそ、恩恵を受けることができるので、“了”のあるbを選択すべきである。

次の(44)は文脈のないフレーズであるので、“了”を使用してもしなくてもよい<sup>4)</sup>。

(44) 井戸を掘った甲田工業所

a 挖井的甲田工业所

b 挖了井的甲田工业所

(42)と下の(45)の“说的N”と“说了的N”についても、同じように解釈できる。(42)では、「話の源」(＝誰の話)を言いたいので、“了”のあるbを選ばない。下記の(45)については、「一度口に出したら、もう取り返しがつかない」と理解してもよく、「これは他の人ではなく、俺の言ったことだ」と理解してもよいので、“了”を使用しても、しなくても可能である。

(45) これは俺の言ったことだ。必ず責任をもって実行する。安心しろ。

a 这是我说的事。一定负责办。放心吧。

b 这是我说了的事。一定负责办。放心吧。

基準1～4では、(42)～(45)の現象を解釈しにくいと思われる。

## 注

- 1) 当然、さらに多くの“了”の使用条件がまとめられる。詳細は李兴亚1989「试说动态助词“了”的自由隐现」『中国语文』第5期を参照。
- 2) 研究のレベルにおいては、(27)を「これらの褐色の粉末は当時の人々が燃やすための石炭である」のように解釈してもよいと思う。
- 3) この2文の問題点は、日本語の「～た」は単なる出来事の過去を示すものであるのに、中訳においてこれを動作が完結したことを強調する連体修飾語として訳した点にある。2文とも話者の意図は「動作をする時/際」であり、「動作を完成した時/際」ではない。両言語にこの相異が生じた原因は、日本語の「～た」は文法組織のどの部分に置かれても、テンスしか示さないのに対して、中国語の連体修飾語における“了”は文法以外（語義・語用論）の働きをも有しているという点

にあると思われる。

- 4) 筆者が北海道大学中国語研究会の席でこの点に言及した際に、松江崇先生より虚詞には主要機能と副次的な機能とがあり、“了”の主要機能は動作の完成或いは実現を表すことであり、副次的な機能は「確定、特定」であることなどをご教示いただいた。また、下地早智子 2002 においてすでにこれらの指摘があったことも併せてご教示いただいた。しかし、この観点で前掲の多くの例文) の b の類、(例えば、(42) の“说的話”) を説明しにくいような気がする。

## 参考文献

- 荒川清秀 1981 「“了”のいる時といらぬ時」, 『中国語学』 228 号。
- 王 宏 1983 「日语「夕」和汉语“了”的对应关系」, 『日本語学习与研究』 第 1 号。
- 王占華 有働彰子 2003 「“了”の使用における語用論的解釈——「た」との対照の視点から」, 『現代中国語研究』 第 5 期。
- 木村英樹 1982 「中国語」『講座日本語学 11 外国語との対照Ⅱ』, 明治書院。
- 胡培安 2006 『时间词语的内部结构与表达功能研究』, 吉林人民出版社。
- 下地早智子 2002 「現代中国におけるアスペクト助詞.“了”と『文終始』問題について」, 『神戸外大論叢』 53。
- 杉村博文 1982 「中国語における動詞の承前形式」, 『日本語と中国語の対照研究』 第 6 期。
- 陈立民 2002 「汉语的时态和时态成分」, 《语言研究》 第 3 期。
- 张麟声 1993 『汉日语言对比研究』, 北京大学出版社。
- 2001 「完了を表す「た」と「ている」」, 『日本語教育のための誤用分析 —中国語話者の母語干渉 20 例—』, スリーエーネットワーク。
- 张 黎 2003 「“界变”论——关于现代汉语“了”及其相关现象」, 《汉语学习》 第 1 期。
- 三宅登之 1989 「“V的”と“了”——“的”構造における“了”の生起に関して」, 『中国語学』 236。
- 李铁根 1999 『现代汉语时制研究』, 辽宁大学出版社。
- 刘宁生 1985 「论“着”及其相关的两个动态范畴」, 『语言研究』 第 2 期。
- 林裕文 1959 「谈时态助词“了”」, 『语文知识』 第 11 期。